

JR東労組 本部OB会

東日本旅客鉄道労働組合
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-24-1
JR代々木総合事務所5F
Tel. 03-5315-0941 (代)
発行責任者 奥山光昭

ニュース

No. 301 2025年 3月発行

2024年度 第2回幹事会開催

4月24日

第29回定期総会を開催します！

本部OB会は2月19日、本部会議室で2024年度第2回幹事会を開催し、第29回定期総会の議案について議論しました。

当日は東北新幹線のパンタグラフすり板破損と台車の異常を知らせる表示点灯と2度にわたり運転を見合わせ、輸送障害が発生したため、秋田・仙台の幹事が欠席、盛岡・水戸の幹事は遅れての出席となりました。

それにしても、新幹線の輸送障害が連続しています。3月6日には、昨年9月同様はやぶさ・こまちの列車分離事故があり、お客さまに不安と多大なご迷惑をかけました。また、原因も確定しないまま併結運転を再開し、さらに不安を増幅させています。OB会は安全再確立に取り組み現役を支えましょう。

幹事会では、総会方針(案)、今後の「OB会ニュース」の発行・発送についての意見が出されました。

【組織】

① JR東労組OB会の現状に踏まえたOB会組織を創造していきます。

② 新潟地本OB会は新規加入者の減少、高齢化などにより今年7月(予定)の定期総会で解散することとなります。解散以降も新潟地本の会員と連携し運動を進めます。

③ 新潟・高崎の会員の皆さんについては、会費徴収および会員の皆さんとの窓口を本部OB会が行います。

④ 各地本の実情に踏まえ東労組OB会活動を維持・継続、活性化のため「OB会活動活性化交付金」を各地本OB会に交付します。

⑤ 現役の皆さんと協力して東労組の組織拡大・東労組OB会会員拡大を取り組みます。

⑥ 各地本OB会の皆さんと連携してOB会員名簿を整理し、転居、加入、退会などを把握し緻密な組織運営に努めます。

⑦ 各地本、地区、支部OB会の交流やレクリエーション等を通じてOB会組織の強化を目指します。

⑧ JR東労組・JR総連推薦候補者全員の当選を目指し選挙活動を行います。

⑨ JR東労組議員団を中心に、関係する議員

との連携を強化します。

【交流】

① 社会保障制度の改善に向け「JR総連OB連絡会」及び「日本退職者連合」と連携して取り組みます。

② 中央・地方の退職者連合の取り組みに積極的に参加します。

③ 平和を希求し「脱原発」「反基地」「憲法改悪反対」等をたたかう仲間と連帯します。

④ 三つの架け橋運動としてスタートした「森づくり」の活動も20年となりました。会員数の減少などの現実に踏まえ、地道に続けてきた取り組みの成果を確認し、さらに継続していくため「森びとプロジェクト」と連携し取り組みます。

【教宣】

① 引き続き「本部OB会ニュース」を発行します。尚、2025年度よりホームページに掲載、「緑の風」とともに各会員宅へ年2回(7月と12月予定)郵送します。

② エルダー会員についてはこれまで同様に年6回郵送します。各支部OB会情報を共有するために各地方に発信します。

③ 会員の皆さんに「世界へ未来へ9条連ニュース」の購読者拡大を呼びかけます。引き続き発送作業を手伝います。

【会議】

① 本部OB会役員会は、4回開催します。

② JR東労組OB会幹事会は、10月と2月に開催します。

「OB会ニュース」発送は年2回となります

この一年、各地本・支部・分会OB会の皆さんに今後の「OB会ニュース」の発行、発送について議論をしていただき、その意見を基に総会で提起する方針を以下のように確認しました。

① 「本部OB会ニュース」はこれまで通り年6回発行する。

② 「緑の風」「OB会ニュース」の会員宅への郵送は年2回とする。(7月・12月)

③ 「OB会ニュース」は東労組HPに掲載、各地方にメールで配信をする。

④ エルダー会員には従来通り郵送する。作業は本部OB会が行う。

霜鳥 熊谷 齋藤 柳田 早坂 須藤 今野 前田 高橋 平 関 関本 菊池 佐々木 藤原 藤原 宣彦 盛岡 新井 英次 新宿
憲次 幸一 宗勝 仙郡 新弘 中 隆志 中 横 八 盛岡 岡 山王堂 嗣樹 大船
千 幹 仙 郡 新 弘 中 隆 志 中 横 八 盛 岡 岡 山 王 堂 嗣 樹 大 船
葉 総 台 車 庄 前 央 央 手 戸 岡 岡 山 王 堂 嗣 樹 大 船
当選おめでとうございます！

本 田 千 恵 子 後 藤 恵 三 宮 大 宮 宇 都 宮 浦 立 川 府 訪 湯 直 江 津 橋 前 橋 小 田 原 大 船 東 京

2025年お年玉クイズ
答えは
(300)号
応募総数 218件
メールでの応募 34件



2025年お年玉クイズは1月31日消印で締め切りました。応募総数は昨年を多少下回りましたが、218件でした。今年は、今後を展望し、メールでの応募も受け付け、34件ありました。来年以降はさらに増えることを期待します。挑戦していただいた皆さん、ありがとうございます。

届いたハガキには現役に対するエール、会員の皆さまの近況報告や自民党政治への怒り、国鉄改革を忘れたかのようなJR東日本会社に対する怒りと、悔しさがつづられていました。

2月4日、厳正な抽選を行った結果、30名の当選者が決定しました。

今回の当選者への景品については、2,000円のクオカードとしました。

当選者の皆さま 敬称略

2025 春闘総決起集会
J R 東労組東京地本・首都圏協議会

2025 J R 総連春闘 O B 会も現役と連帯！

赤ハチマキを締め、 各地方・ブロック集會に O B 会参加！

本部事務所を埋める檄布

そんな回答では納得できない！
緊急再申し入れてたたかう！

J R 東労組の賃上げ要求

- ・ベア一律15,000円
- ・エルダー組合員を15,000円引き上げ
- ・定期昇給(昇給係数4)完全実施
- ・21春闘での昇給カットの解決
- ・第二基本給制度の凍結
- ・65歳定年制の実施

夏季手当 3.2ヶ月

J R 東労組の2025春闘は、昨年同様賃上げと夏季手当の同時期議論となりました。

春闘期間中、各地本・支部・分会・部会・サークル協など、多くの組合員・未加入者の仲間が檄布や檄物資をもって本部に激励に訪れました。檄布には多くの O B 会員の名前も力強く書かれていました。

また各地方・ブロックで J R 総連春闘勝利に向けた集會が開催され、多くの O B 会員も参加、ハチマキを締め現役とスクラムを組み、声を上げました。さらに、食事づくりなどで現役の取り組みを支えた地本・支部 O B 会もあり、現役との一体感を創り出しました。

課題は賃上げの他にも
社員代表選挙教訓
企業体質を正すたたかい

各集會では賃上げと同時に、社員代表選挙の教訓報告、「被害者が被害者にされた！ J R 東日本武蔵小金井駅暴行事件」に象徴される、会社の企業体質を正すたたかいを、告訴した被害者を支え組織を挙げてたたかう意思統一が図られました。

会社は J R 総連春闘破壊と云える昨年同様、回答指定日を大幅に早め3月6日、格差が拡大する以下のような回答を示しました。

定期昇給

6,389円(1.78%)

基本給改定

13,782円(3.90%)

4月以降の処遇改善

1,556円(0.44%)

トータル

21,727円(6.12%)

エルダー社員

基本賃金に8,000円加算

夏季手当 2.8ヶ月

25,000件の組合員・社員の声を力に
「緊急再申し入れ」

組合は回答を受け、到底納得できないことから妥結せず持ち帰り、各地方と議論し「緊急再申し入れ」を行いました。したが要求の前進を見ることはできませんでした。

中央本部は、春闘を通じ組織強化・拡大の教訓と今後の課題を明確にしたこと、安全などを意識統一し妥結しました。

「O B ニュース」が手し、現・北・東・西・南・中・東の各地方・ブロック・支部・分会・部会・サークル協など、多くの組合員・未加入者の仲間が檄布や檄物資をもって本部に激励に訪れました。檄布には多くの O B 会員の名前も力強く書かれていました。

最後まで戦うぞ！

レクや趣味を通じ、
懇親を深め、心身ともに健康な体を手に入れよう！

2025春闘も期間中の組織拡大など、組織的な成果を確認し終了しました。

寒さも和らぎ、春の風に桜の花びらが舞う季節を迎えようとしています。桜前線の北上とともに日本列島をピンク色に染め上げます。

各地方本部 O B 会は、花見などのレクを開催し会員相互の親睦・懇親を深める計画を立てていくことでしよう。

レクなどを通じ、心身ともに健康な体を手に入れましょう。

雪解けを待つ山菜取りを計画されている会員の方もいるかと思ひます。注意しなければならぬのは、そのころはクマも冬眠から覚める頃です。山菜が生えているようなところは、野生動物の生活エリアであることを忘れないようにしましょう。一人では絶対に行動しないことを心がけ、ドクゼリなど、山菜によく似た毒草もあるので注意が必要です。リスク管理を怠らず生活しましょう。(釈迦に説法でした)

日本人の平均寿命は医療の発達と食生活の改善などにより伸び続けてきました。しかし健康寿命との開きは改善されていません。(24年発表、男性の平均寿命81.09歳、健康寿命72.57歳で、約11.5年は日常生活に制限がある状態となります。)

健康寿命を伸ばすための行動として

・禁煙、本数を減らす

・節度ある飲酒、病気のリスク



・バランスの良い食事
・日常的な運動、リフレッシュ
・社会的関係を保つ、特に一人暮らしの人は趣味・ボランティアを通じた交流
・脳トレ、認知症予防、スポーツや楽器演奏
・定期的な健康診断、などと言われています。

少しでも長く健康な体で生活するために、レクや趣味を通じて人とのふれあいを大切にすること、大好きな飲酒は節度を持つことが大切です。今後、そのような視点を入れた O B 会活動が求められています。

セントラル労働組合 O B 会結成！
昨年暮れ、J R 東海労と決別したセントラル労働組合は、J R 総連に加盟しました。

2月23日、関東・名古屋・関西地区の仲間が集まりセントラル労働組合 O B 会が、結成されました。

J R 東労組 O B 会は、2月19日幹事会に出席した各地方の代表で「檄」を取り組み、会長が直接セントラル労働組合に手渡しました。

J R 東労組 O B 会は、現役を支え J R 総連運動を東海の地に残すために奮闘するセントラル労働組合 O B 会と固く連帯します。

総会を経て、東労組ホームページに掲載予定ですが、この3月号をお試しで掲載します。(4月以降になります)